

令和7年(2025年)9月30日 (火曜日)

腰切不動尊の御堂を清掃する関係者＝三島市南本町(提供写真)



「地域の宝 次世代に」

GW三島 腰切不動尊で例祭

御堂清掃、礼拝も

三島市のNPO法人
グラウンドワーク三島
(GW三島)は28日、
同市南本町の腰切不動
尊で例祭を開いた。関
係者や地元住民ら約10
人が参加し、御堂の清
掃や礼拝を行った。

同NPOが毎年5月
に大祭、1、9月に例祭
を行っている。参加者
は例祭ののぼり旗を立
て、雑巾がけなどで御
堂の内外を磨き、石仏
を清めてから礼拝し、
最後に全員で読経した。

同NPO担当者は「地
域の宝を次世代につな
ぐため、今後も続けて
いきたい」と話した。
腰切不動尊は163
3(寛永10)年、御殿川
の水車場の川底から見
つかったと伝えられて
いる。腰から上だけの
石仏で、安産や腰から
下の病に御利益がある
とされ、信仰を集める。